

宮の沢町内会

医療と介護の町づくり通信

第11号 2025年3月1日発行

発行者 宮の沢町内会医療と介護の連絡協議会

2月4日道庁地下の危機管理センターで北海道全市町村の職員を対象にした防災研修(対面&オンライン)の講師をしてきました。

昨年12月北海道社会貢献賞(防災功労)の受賞をしましたが、宮の沢町内会が実施してきた防災の取組で一斉通信RAIDEN(ライデン)の採用と全国でも珍しい医療と介護事業所との防災協力協定の締結等「宮の沢版地域包括ケアシステム」が高く評価されたようです。



私が防災に取り組んで既に8年が経過し、普段の暮らしの中で医療と介護はとても大切で、特に祝日等で緊急時救急車を呼んで家族は救急車が来て安心しますが、なかなか救急患者を診てくれる病院が見つからず、イライラした経験があると思います。

この通信の前回第10号(5/24発行)で札幌孝仁会記念病院の入江院長が「救急医療が必要となったときは救急車による受け入れと災害時の医療救護活動が可能」だと心強い寄稿していただきました。本年1月3日早速私たちの町内会役員のお孫さんが過呼吸で救急車を呼びましたが、受入れ先が見つからず、その時私中川の話思い出し、救急隊員から札幌孝仁会記念病院に連絡していただくとすぐに受入れOKが出て大変助かったと報告をいただきました。私の願いのひとつが叶ったことに、今年の先行きの明るさが見えた気がします。

最近テレビに出ることが多くなり、多くの方から「テレビを見ましたよ」と言われます。マスコミの力はものすごいと感心します。異常気象がますます続いており、何が起こるか不安がいっぱいです。また、町内会役員の高齢化も進み、次の世代に繋ぐ努力をしてきましたが、なかなか上手く行きません。宮の沢町内会のデジタル化はホームページ、フェイスブック、デジタル回覧板、イベントの参加申込をQRコードで受付するなど、単一の町内会では結構先を走っていると思います。皆さんもいつまでも若くはありません。次のひとへバトンタッチしなければ、社会が循環しません。どうか、皆さんの周りに町内会活動を支える側になっていただくかたがいましたら是非紹介してください。

(中川 和彦)

医療法人社団棕櫚（しゅろ）の会の現状と今後の展開

（医）棕櫚の会

ホサナファミリークリニック

理事長・院長 一木崇宏

宮の沢町内会の皆様には、いつも大変お世話になっております。去年はホサナファミリークリニック開設10周年を迎え、10月には住宅型有料老人ホーム「ホサナケアホーム」も宮の沢に開設させていただきました。それにあわせて訪問看護、訪問介護も始めました。

現在の当法人の事業は

- * 訪問診療 ホサナファミリークリニック
- * 訪問看護 ホサナ訪問看護ステーション
- * 訪問介護 ハレルヤ訪問看護ステーション
- * 小規模多機能型居宅介護事業所 ホサナホーム
- * 住宅型有料老人ホーム ホサナケアホーム

となっていて、いつのまにかいろいろな事業を手掛けるようになっております。

これは「住み慣れた地域で、安心して最後まで自分らしく暮らす」という地域の方々のニーズに合わせて徐々に事業が増えてきているという感じです。

高齢化や病気などで通院などが困難になった場合には「訪問診療」や「訪問看護」を利用し、介護が必要な状態になったら泊まって、通って、家にも来てくれる「小規模多機能型居宅介護」を利用してなんとか自宅での生活を維持し、いよいよ自宅での介護が限界になった際には有料老人ホームに入居するという感じで、ライフステージに合わせて様々なサービスが提供できるようになっております。もちろん最後まで自宅で過ごしたい方に対しては訪問診療、訪問看護を提供し、自宅での生活をしっかりサポートさせていただきます。

昨年10月に開設したホサナケアホームは末期がんや神経難病の方や要介護が重たい方を主として受け入れる住宅型有料法人ホームで、訪問診療、訪問看護、訪問介護などを受けつつ、最期まで生活可能な施設です。

またこの施設は地域に開かれた施設にしたいと思っています。例えば介護の相談の日を設けたり（暮らしの保健室）、カフェタイムの時間をつくったり、駄菓子屋さんを開いたり、コンサートをしたり、いろいろなことに取り組んでいきたいと考えています。今年の12月にはコンサートを3回、暮らしの保健室を1回開催して、地域の方々も来ていただきました。今後はカフェタイムや駄菓子屋さんも開いていきたいので、手伝ってくださるボランティアさんも随時募集していきたいと思っています。関心のある方はどうぞ御声掛けをお願い致します。

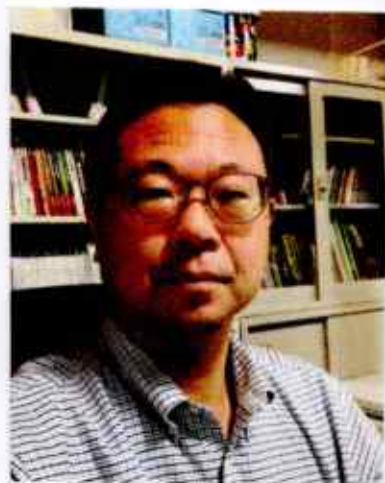
これからも私たちは地域に安心、安全をお届けできるように職員一同力を合わせて頑張っていく所存です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

- * 訪問診療、訪問看護、各施設ご利用の問い合わせ、お申込みは

地域連携室 011-688-6324 までお電話ください。



ホサナファミリークリニックと小規模多機能「ホサナホーム」



(医) 棕櫚の会

ホサナファミリークリニック
理事長・院長 一木崇宏



住宅型有料老人ホーム「ホサナケアホーム」



12月にホサナケアホームで行ったコンサート

社会福祉法人宏友会

「コミュニティ・カフェ ふうしゃ」と「札幌市西区介護予防センター西町」の活動紹介

コミュニティ・カフェ ふうしゃ とは

「ふうしゃ」という場所をご存じでしょうか？
西町南 21 丁目 2-15 にあるオレンジの看板のコミュニティカフェです。社会福祉法人宏友会が地域の居場所として開設し、地域の皆様や関係機関の皆様にご支援いただき、地域に根差して2025年2月1日に10周年を迎える事が出来ました。

「何だか入りづらい」「誰が利用できるかわからない」など利用したことのない方からそのような声を聞くことがあります。そこで、今回は中川会長から紹介の機会をいただいたのでたっぷり紹介させていただきます。「ふうしゃ」はどなたでも利用できるカフェで様々な趣味活動の場にもなっています。予定は毎月カレンダーを発行し店頭でも掲示して、法人のブログでも紹介しています。

カフェ営業は月曜日・木曜日・金曜日でコーヒーは100円～木曜日と金曜日はパンも販売しています。火曜日はこども食堂を行っています。趣味活動として刺繍教室・医療についての座談会・認知症カフェ・手話教室・健康茶の会・囲碁の会・エッセイ教室・手作りの会・ブックカフェ・切り絵教室・絵手紙教室・英会話教室・セラピューティックケア・いろどりサロン・ポディートーク・やまべ体操など様々な楽しい集まりがたくさんあります。



季節ごとにイベントも行っています。クリスマス会や餅つき、七夕企画、バザーなど多世代が一緒に楽しめる内容で盛り上がっています。子どもから高齢者まで同じ空間を共有し、良い距離感で過ごしている様子が多くみられます。ボランティアさんがカフェの営業を行ってくださっていて、初めて利用のお客様にも居心地の良い声掛けや丁寧な説明をしてくれているので安心してご来店ください。

お問い合わせは

090-1730-8757 コミュニティ・カフェふうしゃ
へご連絡ください。



札幌市西区介護予防センター西町とは

「ふうしゃ」に2020年より併設しているのが「札幌市西区介護予防センター西町」です。札幌市の委託事業で65歳以上の地域住民の支援を行っています。一般介護予防事業は地域包括支援センターで基本行われていますが、札幌市は補完事業として介護予防センターの事業を行っています。事業内容は以下の通りです。

介護予防教室の実施

介護予防教室は、地域に住む高齢者が対象で、自主的に介護予防に取り組めるようなきっかけをつくるためのプログラムです。心身機能維持のための体操やレクリエーション、脳トレなどを行い、宮の沢町内会で月に1回介護予防教室を行い、ふうしゃの前では5月～10月まで平日毎朝10:30～西区のご当地体操「エコロコやまべエ誰でも体操」を行っています。



地域の介護予防活動の支援

地域での介護予防活動が住民たちによって自主的に実施され、それが継続されるよう、普及啓発や技術支援、運営についての助言などを行っています。例えば、地域の町内会や老人クラブなどに介護予防センターの職員が参加し、効果的な介護予防の方法や継続するためのヒントをアドバイスしています。令和6年度は宮の沢町内会のスマイルサロンの支援や、オリンピックのメダリスト阿部雅司さんによるノルディックウォーキングの企画などを行いました。



高齢者介護に関する相談の受け付け

介護予防に関すること、家に閉じこもりがちな高齢者の外出支援に関することなどの相談に応じています。また、高齢者の生活や健康についての心配事、介護保険制度の利用方法などに関する相談も受け付けており、必要な情報を提供するとともに、地域包括支援センターや行政機関につなげる役割を担っています。



市内に53か所ある介護予防センターの中でコミュニティカフェに併設しているセンターは少ないです。路面店であることから相談に繋がるケースが多く、年間で5名ほど認知症の方がふらっと来店して保護する事が出来たり、障がいをお持ちの方がスタッフの方とはぐれて助けを求めに来たりと相談窓口として認識していない方にもつながる不思議なお店です。皆さんも是非気軽にご来店ください。

医療と介護の連絡協議会 会員名簿

ひろ内科循環器科クリニック 院長 首藤 寛	☎671-2727
ホサナファミリークリニック 院長 一木崇宏	☎688-9807
まるごとケアの家 ホサナホーム 理事 伊藤秀行	☎688-9859
札幌孝仁会記念病院 事務部長 杉谷浩一	☎665-0020
宏友会 手稲リハビリテーションセンター 業務管理課長 古谷芽生	☎663-2931
宏友会 風車の家 管理者 松本 徹	☎666-8514
創成会 グットケア宮の沢 管理者 田湯 瞳	☎668-8000
有料老人ホーム 山の手後楽園 施設長 石破隆二	☎616-6766
愛敬園 北愛館 法人本部長 山崎正人	☎669-4171
札幌市西区第2包括支援センター 副センター長 吉田博和	☎661-3929
札幌市西区介護予防センター西町 主任 大西由紀子	☎663-2558
宮の沢町内会 会長 中川和彦	☎090-1646-7622